

福島松川スマートインターチェンジが本格導入になります。

平成16年12月27日から福島松川PAにおいてスマートインターチェンジの社会実験を実施して参りましたが、8月に第1回地区協議会で承認されました「実施計画書」を、高速道路に接続する各道路管理者（上り線側：福島市・下り線側：福島県）が「連結許可申請書」とあわせ国土交通大臣に提出し、平成18年9月21日に承認され10月1日から「福島松川スマートインターチェンジ」として本格導入されることになりました。

概要等については、下記の通りです。

インターチェンジの名称：「福島松川スマートインターチェンジ」
（略称：福島松川スマートIC）

本格導入開始年月日：平成18年10月1日（日）～

利用可能時間：6:00～22:00

利用可能車両：車長12m以内

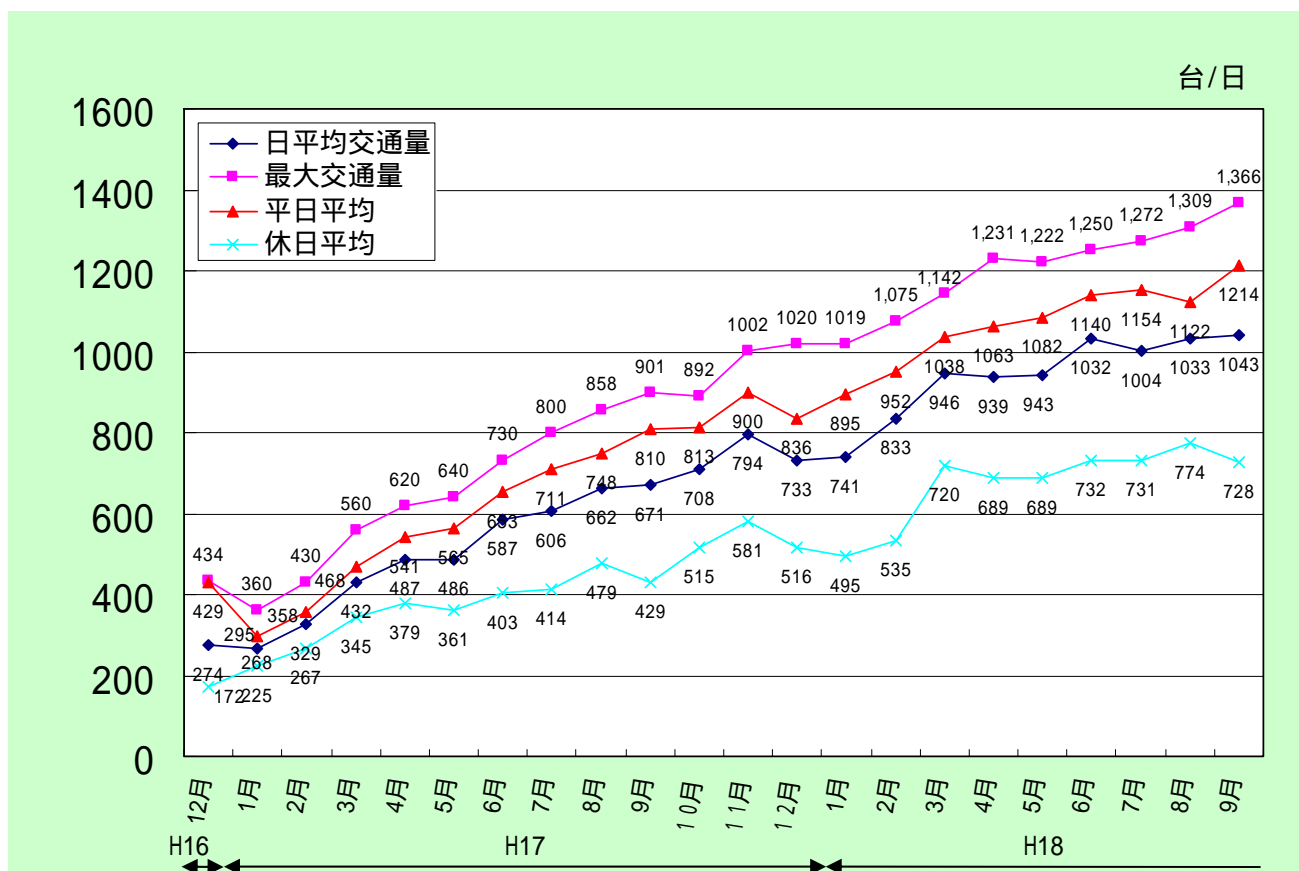
但し、アクセス道路整備が完了するまでの間は、
車長9mまでの車両に制限させていただきます。

利用上の注意：1）ETC専用のインターチェンジになっております。
ETC車載器を搭載されていない車両は通行できません。
2）一旦停止型のインターチェンジになっております。
利用する場合、一旦停止してゲートが開いてから通行願
います。

料金設定：東北縦貫自動車道の料金体系と同一基準。
（社会実験時と同一料金）
高速道路利用者サービス（通勤割引等）の適用も同一
（社会実験時と同一）

社会実験結果等

1) 利用状況 (平成 16 年 12 月 27 日 ~ 平成 18 年 9 月 17 日 実験開始から 630 日間)



種別	日数	平均
平日	421	822
休日	209	510
合計	630	718

2) 整備効果について

救急医療サービスの向上

当該地域は、県内医療の要であり特定機能病院に指定されている県立医科大学附属病院が立地していることから、当スマートICを設置することで、安定した救急搬送ができ、当該地域及びその周辺地域における高次医療サービスの向上が図れる。

県立医科大学を含めた救急医療搬送実績は 127 件 (実験中実績 H17.1 ~ H18.8 末)
搬送時間は、福島西 IC、二本松 IC 利用時と比較し 10 分 ~ 15 分短縮
高速道路を利用することにより、安静が必要な患者の搬送に貢献

地域資源の連携による観光振興

当該地域は、温泉地や吾妻連峰といった日本有数の観光資源を有し、福島県県北地方の玄関口として、各資源との連携を図った産業や観光振興が期待されており、当スマートＩＣを設置することにより、観光アクセスの利便性が向上し、観光交流の促進が図れる。

広域的な都市農村交流

当該地域では、豊かな農村風景が広がる環境を生かし、平成 13 年度より大都市圏の小学生を対象とした農業体験や、夏祭り、新そば秋祭り等のグリーンツーリズムの取り組みを進めており、当スマートＩＣを設置することにより、大都市圏からのアクセス利便性が向上し、広域的都市農村交流の促進が図れる。

広域交通体系へのアクセス向上

県北地方南部に位置する飯野町、川俣町では、最寄ＩＣへのアクセス時に交通量の多い市街地南部を通過するなど、高速道路利用時の定時性・即時性が確保されない状況にあるため、当スマートＩＣを設置することで、地域住民の高速道路利用を円滑にし、生活利便性の向上を図れる。

立地促進及び物流の向上

当該地域には、工場が立地するほか、松川工業団地等の開発による機械工業の集積など、当該地域産業を支援する交通施設整備が求められており、当スマートＩＣを設置することにより、大規模工業団地に対応した円滑な物流ルートが確保され、地域産業の活性化を支援できる。

地元企業の意見

移動時間が短縮され、業務の効率化を図れる。
物流の運送業務において、時間短縮が図れる。
地域産業の活性化に多大な効果をもたらす。

地元密着型のスマートＩＣ

平日は、通勤時間帯の利用が非常に多くなっている。

地元住民の意見

通勤・通学に日々利用しており、既に生活に密着している。
国道 4 号の渋滞緩和が期待される。
福島大学、県立医科大学へのアクセスが向上される。

本格導入に伴う記念式典等について

1) 本格導入感謝記念特産品プレゼント

日 時：平成18年10月1日(日) AM6:00～

場 所：福島松川スマートインターチェンジ上下線ゲート付近
(贈呈式は下り線実施)

内 容： 上下線一番乗りの利用者に福島市・二本松市・川俣町・飯野町の特産品セットをプレゼント
一番乗り以外の先着上下線利用者に「なし(幸水)」(約1kg)プレゼント
(上下線それぞれ25個)

2) 本格導入記念式典

日 時：平成18年10月1日(日) AM10:00～AM10:30(予定)

場 所：福島松川パーキングエリア下り線内

次 第： 開 会

地元代表あいさつ(福島市長)

祝 辞(国会議員等)

スマートインターチェンジ制度概要説明(福島河川国道事務所長)

テープカット

閉 会

問 合 先

福島市建設部幹線高速道路課	課 長	石 幡	茂	525-3770
福島県土木部道路領域高速道路グループ	参 事	佐久間	賢 一	521-7885
国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所	調査第二課長	高 橋	秀 典	539-6128